

浴衣姿で優雅に踊る学生



小唄流し踊り 優雅に

八学短大「来年は祭りで」
学内発表

八戸

八戸市の八戸学院大学短期大学部(杉山幸子学長)は15日、「八戸小唄流し踊り」の学内発表会を八戸学院大学のメインストリートで開いた。幼児保育学科の1、2年生と介護福祉学科の2年生ら計約130人が優雅な踊りを披露した。

八学短大は八戸小唄流し踊りに2008年から参加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年連続の中止となり、今年も晴れ舞台での披露はかなわなかった。地域の伝統に親しみ次代に継

承していくために、代替行事として学内発表を開催した。

学生たちは6月に日本舞踊泉流師範の泉紫峰さん・彩菜さん親子から踊りの指導を受けた。その後はおよそ1カ月間、授業などで練習を続けた。緑鮮やかな木々に囲まれたメインストリートでは、浴衣姿の学生が列をなし、練習してきた手足の動き一つ一つを心を込めて踊った。

初めて踊ったという幼児保育学科1年・織笠楓(かほり)さんは「教わった動きを忘れずできて楽しかった。来年は祭りで仲間と踊りたい」と話した。

(相澤賢斉)